

単行本『折紙宇宙船の伝説』の制作経過

昭和58年4月9日 早川書房・営業部長 伊勢本敬行

制作年月日と経過	内容並びに時間・人員・諸経費
<p>〈昭和53年〉 1月下旬 著者より入稿</p>	<p>早川書房の社員（編集2課。SF担当）は著者（矢野徹氏）の所に出向き、『折紙宇宙船の伝説』（日本SFノヴェルス、四六判上製本）の雑誌原稿を受取る。その後編集業務に入り、2月6日（月）に終了する。</p> <p>●編集2課5日1人／交通費 計8,800円</p>
<p>2月8日 水 本文割付の後 印刷所に入稿</p>	<p>制作課は同書の割付、組指定を行なう。9ポイントで1段組、44字詰の20行、行間は5号2分。組上げ予定日2月22日（水）、組上げ予定ページは352。以上の点を台割表に記入する。本文割付の完了した原稿を印刷業社（中央精版印刷株式会社）の営業部に説明したのち、依頼、発注する。</p> <p>●制作課240分2人／校閲課10分1人 計8,400円</p>
<p>2月21日 火 本文組上り</p>	<p>本文が組上がり、中央精版印刷株式会社の営業部員が本文割付原稿と校正用のゲラ刷3通を早川書房に持参する。組上がり360ページ。制作課は本文組が割付通りに行なわれているか否かの点をチェックし、進行表に鉛筆で360ページまで直線をひき、校正ゲラの出た日を記入する。本文割付原稿と校正ゲラの1通を校閲課にまわす。制作課は残り2通を保管する。</p> <p>●制作課60分1人 2,000円</p>
<p>3月3日 金 本文初校終了</p>	<p>校閲課は本文初校を終了し、編集2課にまわす。</p> <p>●校閲課10日1人／編集2課1日1人 計21,600円</p>
<p>3月6日 月頃 本文著者校正</p>	<p>編集2課は著者の所に出向き本文著者校正の依頼をする。</p> <p>●編集2課半日1人／交通費 計8,800円</p>
<p>3月20日 月頃 本文著者校正終了</p>	<p>著者校正が終了し、編集2課の社員は著者の所に出向き、終了ゲラを受取る。</p>

<p>3月22日 水 本文要再校</p>	<p>●編纂2課半日1人／交通費 計8,800円</p> <p>編纂2課は著者校正の終了した本文ゲラを整理し、制作課にまわす。制作課では赤字の入り具合、本文組が割付通りか否かの点をチェックし、進行表に赤鉛筆で360ページまで直線をひき、初校が終了した日付を記入する。要再校として中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●校閲課5日1人／制作課150分1人 計10,500円</p>
<p>3月28日 火 本文再校出</p>	<p>中央精版印刷株式会社の営業部員が本文再校ゲラを早川書房に持参する。制作課はノンブル等のチェックをし、進行表に再校が出た日付を記入する。校閲課に要再校と記された初校ゲラと再校ゲラとをまわす。</p> <p>●制作課60分1人 2,000円</p>
<p>4月17日 月 本文再校終了</p>	<p>校閲課は本文再校を終了させ、制作課に校正終了ゲラをまわす。</p> <p>●校閲課5日1人 100,000円</p>
<p>4月19日 水 本文要念校</p>	<p>制作課は本文再校ゲラの赤字の入り具合等をチェックしたのち、進行表に赤鉛筆で波線をひき、要念校として中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●制作課60分1人 2,000円</p>
<p>付物入編</p>	<p>制作課は付物を作成し、中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●制作課60分1人 2,000円</p>
<p>4月22日 土 本文念校出</p>	<p>中央精版印刷株式会社の営業部員が本文の念校ゲラを早川書房に持参する。制作課は再校の時と同じ順序で業務を行なう。</p> <p>●制作課60分1人／校閲課3日1人 計62,000円</p>
<p>4月24日 月 原画出</p>	<p>3月下旬に画家(武部本一郎)に依頼しておいたブック・カバーの原画が出来上がり、受取りに出向く。</p> <p>●編纂半日1人／交通費 計8,800円</p>

<p>付物組上り</p>	<p>●画料 45,000円</p> <p>付物が組上がり、中央精版印刷株式会社の営業部員が早川書房に持参する。</p>
<p>4月25日 火 付物要再校</p> <p>本文念校終了</p>	<p>校閲課、編集2課は付物の校正を終了させ、制作課にまわす。制作課は文字、位置等のチェックをして中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●校閲課30分1人／編集2課10分1人／制作課20分1人 計2,200円</p> <p>校閲課は本文の念校を終了する。</p> <p>●校閲課2日1人 計40,000円</p>
<p>4月26日 水 本文責任校了</p>	<p>制作課は念校が終了した本文ゲラの赤字の整理を行ない、責任校了として校正刷に「責了」の印を押し、中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●制作課240分4人 8,000円 ●組代 計532,150円</p>
<p>4月27日 木 発行部数と定価の決定</p> <p>付物再校出</p>	<p>本文の責了に従って発行部数及び定価の検討に入る。編集2課、制作課、経理課で討議し、7,000部と決定する、定価は1,200円。</p> <p>●編集2課1人／制作課20分1人／経理課30分1人 計3,000円</p> <p>付物の再校ゲラを中央精版印刷株式会社の営業部員が早川書房に持参する。</p>
<p>4月28日 金 印刷指示書作成</p>	<p>印刷に入る為、台割表と印刷指示書を中央精版印刷株式会社の営業部員に手渡す。</p> <p>●制作課40分2人 1,200円</p> <p>本文印刷に入る為、本文用紙の発注。</p>

<p>本文用紙発注</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 10分1人 300円</li> <li>● 用紙代 517,275円</li> </ul>
<p>5月8日 月 付物責任校了</p>	<p>校閲課、編集2課は付物の修正を終了させ、制作課にまわす。制作課は題名、文字等の印刷位置を指定して「責了」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 校閲課 30分1人 / 編集2課 30分1人 / 制作課 90分3人</li> <li>計 3,400円</li> </ul>
<p>5月12日 金 本文刷了</p>	<p>本文が中央精版印刷株式会社にて刷了となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷代 237,886円</li> </ul> <p>(売上カード用紙の発注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 10分1人 300円</li> <li>● 用紙代 1,200円</li> </ul>
<p>5月13日 土</p>	<p>(本巻用写植原稿を発注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 20分1人 600円</li> </ul> <p>...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 写植代 550円</li> </ul>
<p>5月15日 月 一部抜き点検</p>	<p>一部抜きを中央精版印刷株式会社の営業部員が早川書房に待参する。制作課では落丁、乱丁などをチェックして編集2課にまわす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集2課 30分1人 / 制作課 60分2人 計 2,800円</li> </ul>
<p>5月16日 火</p>	<p>(表紙用写植原稿を発注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 20分1人 / 校閲課 10分1人 計 1,000円</li> <li>● 写植代 370円</li> </ul> <p>(ブック・カバー用写植原稿を発注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 20分1人 / 校閲課 10分1人 計 1,000円</li> <li>● 写植代 6,300円</li> </ul> <p>(本巻の版下作成後、製版所に発注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作課 30分2人 900円</li> <li>● 製版代 4,000円</li> </ul>

〔表紙の版下作成後、製版所に発注〕

●制作課40分2人 1,200円

●製版代 3,000円

〔ブック・カバーの版下作成後、製版所に発注〕

●制作課90分2人 2,700円

●製版代 27,000円

〔売上カード原稿作成、印刷所に発注〕

●制作課20分1人 600円

●印刷代 4,760円

5月17日 水

〔ブック・カバー印刷用紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●用紙代 58,805円

5月19日 金

〔本扉印刷用紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●用紙代 9,125円

〔表紙用紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●用紙代 94,300円

〔板紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●板紙代 68,360円

〔腰帯用写植原稿の発注〕

制作課15分1人／編集2課180分1人／校閲課10分1人  
計6,850円

●写植代 2,500円

5月20日 土

〔売上カードの組上りと完了〕

●制作課20分1人 600円

〔表紙刷了〕

●印刷代 5,200円

〔ブック・カバー刷了〕

●印刷代 26,400円

〔腰帯用紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●用紙代 10,286円

〔ビニール加工の発注〕

●制作課10分1人 300円

●加工代 58,872円

5月22日 月

〔腰帯の版下作成後、製版所に発注〕

●制作課50分1人 2,000円

●製版代 3,762円

〔本扉刷了〕

●印刷代 9,400円

〔見返し用紙の発注〕

●制作課10分1人 300円

●用紙代 41,940円

〔腰帯刷了〕

●印刷代 9,169円

5月23日 火  
製本（見本用）

中央精版印刷株式会社にて『折紙宇宙船の伝説』の見本用製本に入る。

●製本代 448,010円

5月24日 水  
配本部数の検討

営業部第1課(外商)は配本部数の検討に入る。  
●第1課(外商)20分3人 3,000円

5月25日 木  
見本  
配本部数の決定

見本用の製本が完成し、中央精版印刷株式会社の営業部員が同日午前早川書房に100冊を持参する。早川書房では配本部数の決定をし、第1課(外商)は各取次店に見本品を持って行き、配本部数を申し入れ、決定する。

●第1課(外商)1日1人/ガソリン代 16,200円

6月29日 月  
配本

『折紙宇宙船の伝説』の作品が各取次店を通じて全国発送となる。

●著者への印税 840,000円

●合計総人員 69人/合計総金額 3,774,872円